




株式会社 三和ドック
<http://www.sanwadock.co.jp/>

本社

〒722-2193 広島県尾道市因島重井町600番地
 TEL (0845)26-1111 FAX (0845)26-1000

東京事務所

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-10 秀永日本橋室町ビル3階
 TEL (03)3517-2721 FAX (03)3517-2722

神戸事務所

〒650-0037 兵庫県神戸市中央区明石町44番地 神戸御幸ビル6階
 TEL (078)392-3866 FAX (078)325-2668



船の名医と呼ばれています。

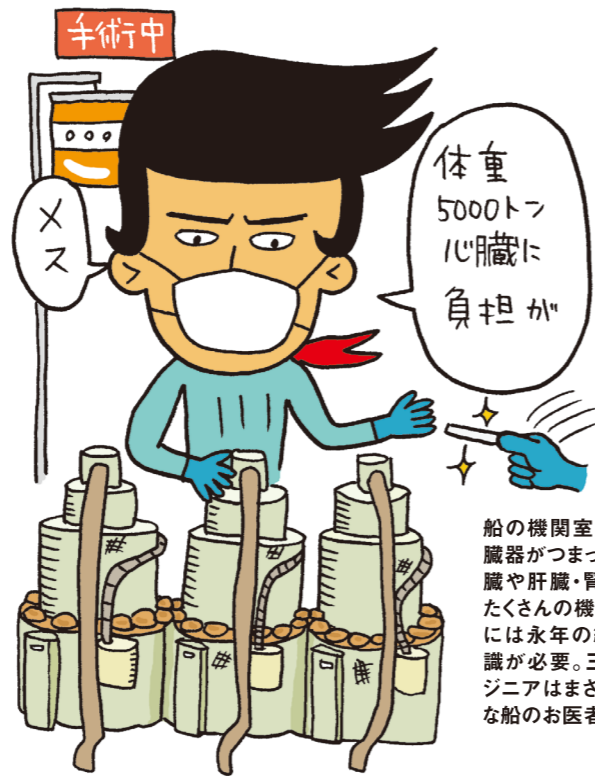
因島・重井・三和ドック
SANWA DOCK
 Craftsmanship since 1961

内科はこちら

エンジンのお医者さん 機関課



船の心臓部ともいえるのが動力を生むエンジン部分。車の車検にあたるものが船にもあって、年に1回はきちんとオーバーホールします。部品ひとつの不具合が、命取りになったりもします。



船の機関室は人間でいえば臓器がつまっているところ。心臓や肝臓・腎臓などにあたるたくさんの機械を正確に治すには永年の経験と豊富な知識が必要。三和ドックのエンジニアはまさに「任せて安心な船のお医者さん」なのです。

船の名医と呼

人間と同じように、船だって安全に航海し「世界一の修繕ドック」と呼ばれる三和ドック。さまざまな船が今日も健康な状態に戻り、ここで働く技術者たちはいわば船のドクター!

皮膚科はこちら

船体のお医者さん 塗装課



船体は海水による腐食を防ぐ目的から、1~3年ごとに塗料を塗りなおします。座礁や事故など厳しい環境の中でボロボロになった船体を清掃し、美しく新品同様に仕上げます。

一気に海水を抜いてしまう強力なドライドックが4基。設備投資を惜しまず、万全の設備でスピーディに作業が出来るから、シゴトが早いこれも三和ドックが選ばれる理由です。

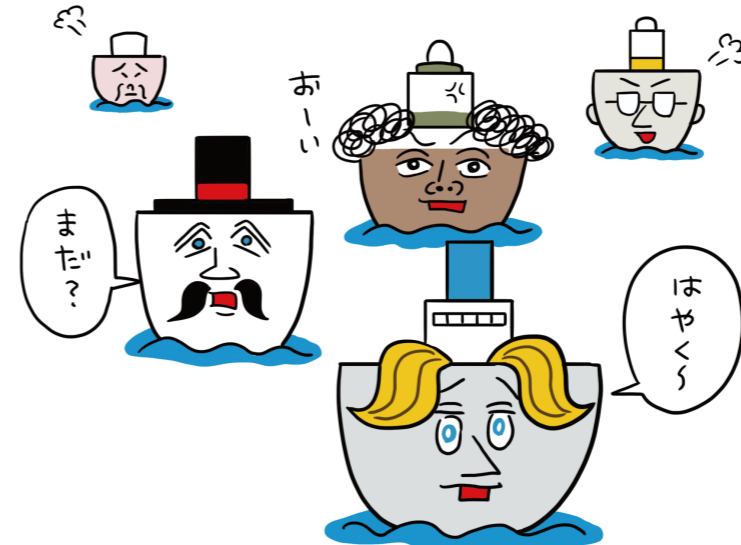


船の長い一生のうちには、さらに性能を高めるための改造工事を行うこともあります。例えば、船体を半分切断して間に新しい船体を組み入れつなげる...なんて大手術も行うことも。

三和ドックって何する会社?

ばれる理由。

続けるためには健康診断が必要です。ここには常に多くの船が寄港し、安全航海へと再び旅立っていきます。三和ドックが名医と呼ばれる理由とは?!



最新手術はこちら

自慢の3Dレーザースキャナと設計技術で 世界の船を大改造

船の中はとても狭くて複雑。改造したり装置を付けるには船の形を正確に把握することから始まります。三和ドックでは早くから3Dレーザースキャナを導入。いち早く取り組んだことで、この分野のリーダー的存在に。最新技術による改造手術は今から本格始動!

整形外科はこちら

要望に応じて船舶を改造 船体課



「新造船」ではなく「修繕」に特化してきた三和ドックは、それだけ多種多様な船を知っています。その経験や知識を買われて、船主さんのさまざまな相談に応じることができるのです。



船の中はとても狭くて複雑。改造したり装置を付けるには船の形を正確に把握することから始まります。三和ドックでは早くから3Dレーザースキャナを導入。いち早く取り組んだことで、この分野のリーダー的存在に。最新技術による改造手術は今から本格始動!



内科はこちら

船の心臓部を治療する

機関部のシゴト

メインエンジン(主機関)やプロペラなど、船の内臓にあたる部分を検査したり、修繕したりといった仕事をするのが、船の内科医、機関部のお仕事。機関部の中にもさまざまな部署があり、それぞれがスペシャリストとして日々の技を磨いています。

メインエンジン以外の内臓はオレたちに任せておけ!



第二仕上チーム

スクルーや熱交換器やボイラー、バルブ等を分解・点検するのが第二仕上チーム。普段は海の底にあって見えない大きなスクルーも、キレイに磨いてピッカピカにしています。



オレたちは船の心臓外科医! 熟練の技で治してみせる!



第一仕上チーム

船の心臓部分である主機関(メインエンジン)は、毎日の航行で疲れも一番たまる場所。部品ひとつひとつ分解し、掃除・点検を行い、新品のように元通りにしていきます。



運搬チーム

船の装置や部品は大小さまざまなものがあります。それを運ぶためには玉掛けなどの資格も必要。大きなエンジンを、いかに船体に傷をつけず作業工場へ運び出すか、そこは運搬チームの腕の見せ所!

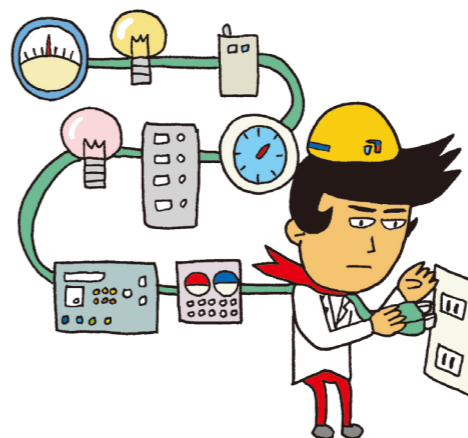
重くて大きな部品も狭いスペースから見事に運び出す!!



電気チーム

電気はいわば船の神経系統。電気・配管は、人間でいえば循環器科といったところでしょうか。動力線、計装線、航海・照明・警報・自動化の機器などなど。大きな船を数名で動かすために、とても重要な役割を担うのが「電気」なのです。

電気は船の神経系統! 正しく電気を流さなきゃ、船は動いてくれません



三和ドックって何する会社?

船の名医と呼ばれています。

精密加工はお任せあれ。機械部品を丁寧に切削加工する旋盤士!

旋盤チーム

機関の仕事には、部品をマイクロ単位で削り出す旋盤士の腕がとても必要。図面どおりにつくるだけでなく、実際のモノを見て触って、判断していく力が求められます。



機関室は配管だらけ。燃料や海水、空気を送る配管は、大事な船の血管!



配管機装チーム

海水、清水、燃料油に蒸気に空気に窒素などなど、船内には様々な流体が行き交っています。それらをスムーズに循環させる、いわば船の血管ともいえる配管を、定期的に取り替え、メンテナンスします。



整形外科はこちら

船の骨格や皮膚の治療

船体部のシゴト

腐食しやすい海上で航行し、かつ航海中の座礁やほかの船との接触など、突発的な事故も時には起きたりもします。ある意味、船体は人の肌よりもデリケート。腐食防止に塗料を塗り、傷ついた部分を補修するほか、甲板機器の整備や居住区の修理も船体部の仕事です。



見た目以上に力自慢!!
大型船を引っ張るのは
オレ達の仕事だ。



船具・タグボートチーム

大きな船を安全に桟橋に着岸させたり、ドックへ誘導したりするのが主な仕事。小さな身体に似合わず大馬力を持つタグボートの操船は難しく上手に動かすにはかなりのテクニックが必要です。



電気溶接チーム

金属と金属ががっちりつなぐため、ジリジリジリ。ダメージのある箇所の状態を見ながら、船体を強くよみがえらせていきます。



電気溶接技術を使って
がっちり接続!
金属をつなぐ専門部隊!



鉄工チーム

船体の内部・外部の鉄部分の補修を行うのが、鉄を知り尽くす鉄工チームのシゴト。大きな鉄の建造物ともいえる船の身体をきれいに形作る、ダイナミックかつ繊細な仕事です。



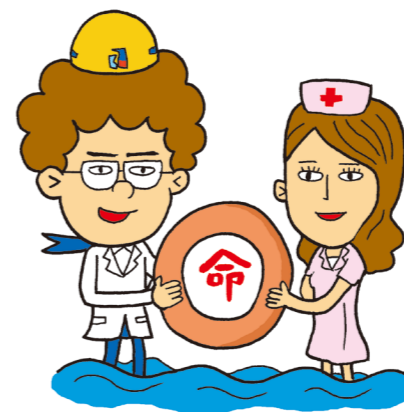
鉄は熱いがオレも熱い。
きっちり仕上げて
鉄の達人になってやる!



甲板仕上チーム

アンカーを動かす装置や船を岸壁につなぐ装置、クレーンやバルブ類など、船の甲板にあるさまざまな機器をメンテナンス。緊急時に使う救命艇を修繕していると、命を預かる仕事だという実感が湧いてきます。

いざという時に備える
救命艇もメンテナンス。
海の男の命を守るぜ!



三和ドックって何する会社?

船の名医と呼ばれています。

ボロボロに傷ついた船を
惚れ惚れするほど
新品同様に仕上げるぜ



塗装チーム

海水の腐食を防ぐ塗料を、1~3年ごとに塗り替え。船体の汚れを高圧清水で掃除した後、海水に触れる部分には、海洋生物が付着せず自然に溶けていく、特殊な塗料を塗っていきます。

強力クレーンを
自由自在に操って、
重たい部品も
持ち上げる!



クレーンチーム

桟橋やドックで重たい物をくると持ち上げて移動する、その専門部隊がクレーンチーム。大きな部品を持ち上げると、それだけでも快感!





最新手術はこちら

自慢の3Dレーザースキャナと設計技術で法改正による改造手術はお任せ!

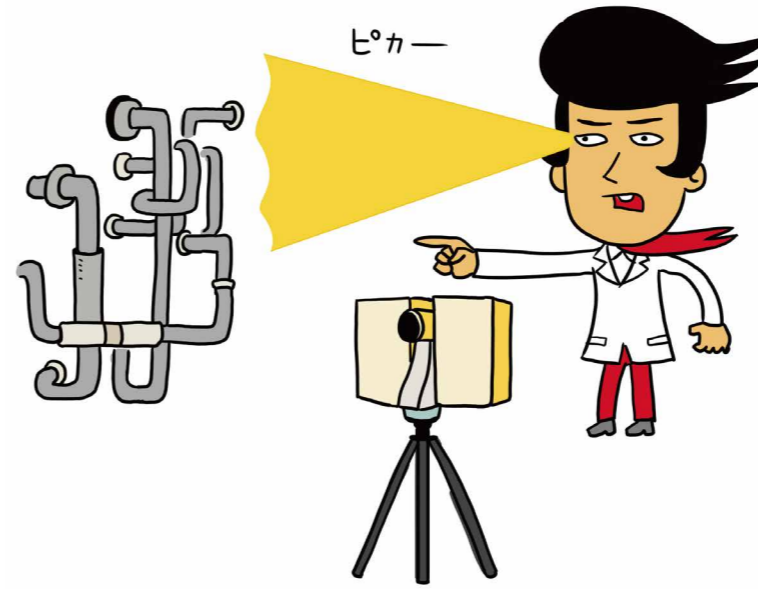
業界の先行きを見越して、三和ドックがいち早く目を付けたのが、3Dレーザースキャナと、さらにそのデータを使った三次元モデリング設計。設備投資だけでなく、人材育成にも力を入れたことで、この分野のリーダー的存在になっています。



3Dレーザースキャナ

船の改造手術は一隻ごとがオーダーメイド。その仕事の始まりは、「測ること」から始まります。これまではメジャーを使っていたところ、空間を何億という「点」で把握する3Dレーザースキャナが仕事の常識を変えました。超画期的技術!

時代を変えた! 3Dレーザースキャナが 火を吹くぜ!



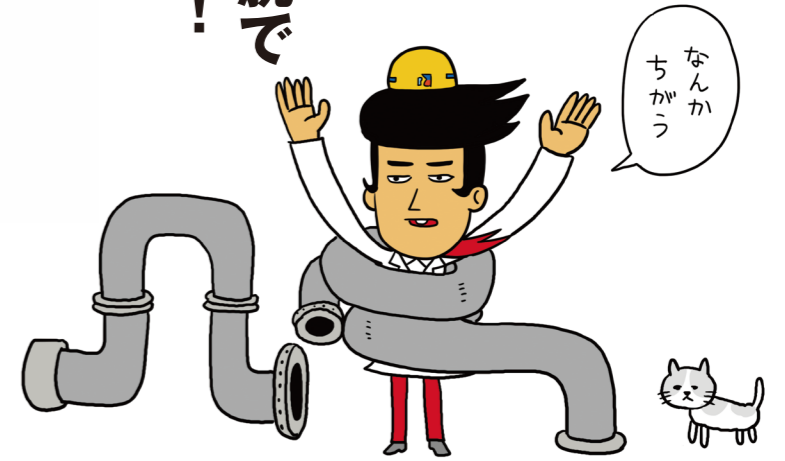
三和ドックって何する会社?

船の名医と呼ばれています。

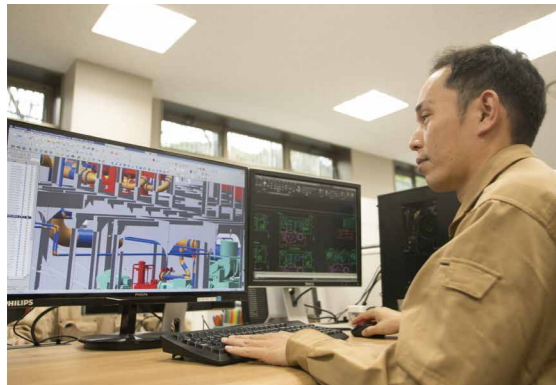
製作・施工

設計を最終的に形に仕上げるのは製作・施工の腕がものをいいます。熟練のベテランから若手まで、真面目な職人気質のスタッフが揃っているのも三和ドックの強み。複雑な装置の組み立てや設置も、一流の腕でスピーディに確実に仕上げていきます。

複雑な装置の 設置も一流の腕で 確実に仕上げ!



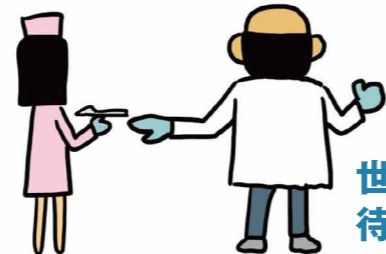
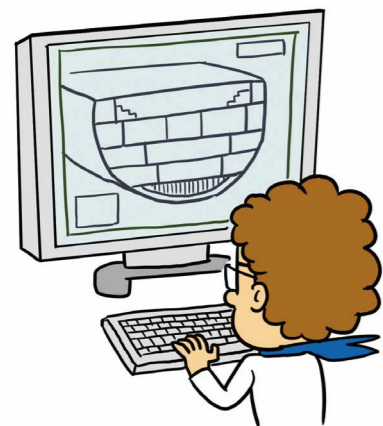
世界中の船が順番待ち 三和ドックターズの 最新手術はこれだ



三次元モデリング設計

3Dレーザースキャナで集めた何億という点のデータを設計図面に落としこむ三次元モデリング設計。最新ソフトやパソコンを揃えて、設計技術も磨いてきました。オーダーに合わせて工夫しながら進める設計は、難しい分、醍醐味にあふれています。

最新のソフトを使いこなして
三次元設計もお手のもんさ



世界中の船が順番待ちする改造手術だ

バラスト水規制とSOx規制で、改造手術の必要な船は世界中に何千とあります。当初からこれらの規制にターゲットを絞り、三次元設計に取り組んできた三和ドックには依頼も急増中。最新設備と技術で、期待に応え続けます。



解説しよう!

バラスト水規制管理条約って何? SOx規制って何?



● バラスト水規制管理条約とは?

バラスト水とは簡単に言うと船の「重し」になる海水。そこに水生生物が混じり他国の生態系を崩す原因になってはいけないと制定された条約。その発効は2017年9月とされています。3Dレーザースキャナと三次元設計で、オーダーメイドの改造手術に、スピーディに対応!

● SOx(硫黄酸化物)規制とは?

船の排ガスに含まれる硫黄酸化物(SOx)の量の規制が、2020年から世界中で厳しくなります。この規制に対応するため、SOxスクラバーという排ガス浄化装置の取付が求められています。日本では実績のない大工事の実現に向け、三和ドックが三次元設計で鋭意研究中!



T やっぱり基本は「習うより慣れる！」
背中であげられる先輩に

船体部
鉄工チーム班長 **菅 唯之さん**



(因島出身)
2002年入社 普通科卒

【入社理由】地元出身で親からの勧めもあって受けてみようと思いました。
【仕事のやりがい】三和ドックは「習うより慣れる」を体現しているような職場です。僕自身がそうだったように、班長である今は僕が後輩に背中を見せる番。仕事はしっかりして、プライベートな時間を充実できるのも当社ならではの、時間が空けば大好きな柔道でストレス発散しています。



T 今の三和ドックはやりがいだらけ！
新しいドックをぜひ見てみて

機関部
第一仕上チーム班長 **佐藤 錬太郎さん**



(山口県岩国市出身)
2004年入社 電気科卒

【入社理由】やりたい仕事と寮があったから。会社見学をして最終的に決めました。
【仕事のやりがい】入社12年目。教える立場というのは難しさもありますが、最近は班長としてメンバーに頼ってもらえることにやりがいを感じています。三和ドックは今後どんどん仕事の幅が広がり、さらにやりがいも増す環境です。ぜひ会社見学に来て新しいドックを見てみてほしいです。



T 若手もベテランもいい人ばかり。
働きやすさのある職場です

船体部
船体チーム **久米 昭太さん**



(長崎県雲仙市出身)
2011年入社 普通科卒

【入社理由】高校の先生に勧められ、因島が地元の雰囲気にも似ていたこと、船を直すという仕事に魅力を感じて決めました。
【仕事のやりがい】甲板仕上げの現場を経験後、6年目から事務所での仕事に異動しました。お客様とも接する仕事なので人と話すのが好きな僕には向いています。職場は話しやすい人ばかりだし、待遇面での還元もあるので、頑張り甲斐がありますよ。



T 日々達成感とやりがいを実感
成長できる仕事がある！

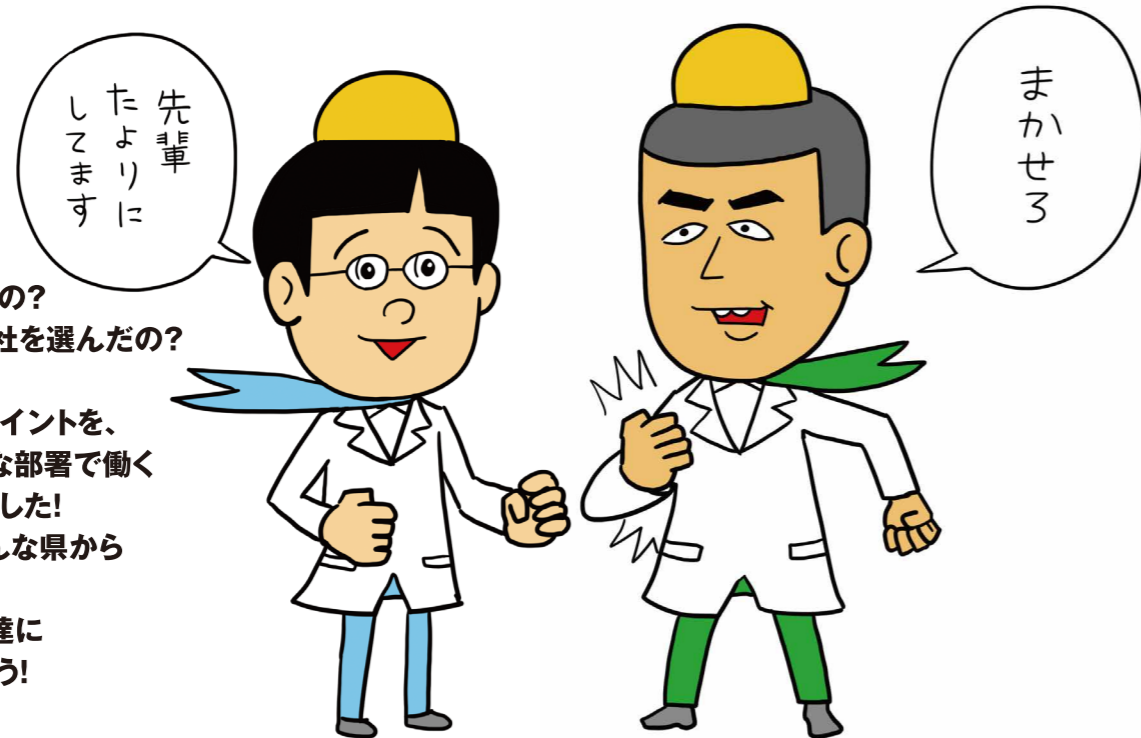
機関部
配管機装チーム **吉留 蒼斗さん**



(鹿児島県いちき串木野市出身)
2015年入社 機械科卒

【入社理由】この会社案内を鹿児島島の高校で手にして、この仕事をやってみたい、この会社に行ってみようと思いました。
【仕事のやりがい】3Dレーザースキャナを使って世界最先端の技術で設計されたバラスト水処理装置の施工を先輩について覚えている最中。完成した船の出港を見ると達成感を感じます。手に職をつけ、成長できるやりがいを日々感じています。

瀬戸内しまなみ海道にある修繕ドック おしえて先輩のシゴト



どんな人が働いているの？
どう理由でこの会社を選んだの？
どんな仕事なの？
会社選びで気になるポイントを、
三和ドックのいろいろな部署で働く
先輩達にぶつけてみました！
因島だけでなく、いろんな県から
集まった先輩達。
前向きで、頼れる先輩達に
まずは話を訊いてみよう！

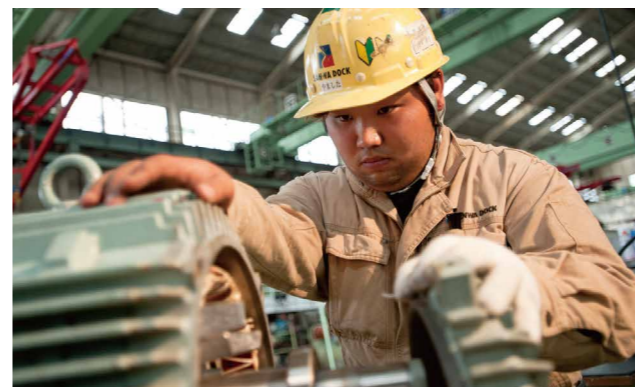


T 塗装の仕事は本当に奥深い！
将来を考えたら三和ドックで決まり！

船体部
塗装チーム **湊 世永さん**

(因島出身)2016年入社 普通科卒

【入社理由】高校に来ていた求人の中で、将来性や待遇など総合的に見て決めました。
【仕事のやりがい】塗装は、最初は単純な仕事かと思っていましたが、実はとても奥が深いんです。船の塗装は防水や防錆につながる大事な仕事。確実に丁寧にさらにスピーディに。先輩の仕事を見ていると、まだまだ先は長いと思います。当社は今が面白いですよ！



T 寮も職場も居心地よくて最高！
のびのびやれてご飯も美味しい！

機関部
電気チーム **山下 祥生さん**

(福岡県福津市出身)2016年入社 電気科卒

【入社理由】電気の知識を活かして、船は陸上より難しく面白そうと思ったのが理由です。
【仕事のやりがい】今はまだ先輩についていくので精いっぱい。船の配電はすぐ理解できるような仕事ではないし、道具の使い方もひとつひとつ自分はまだだだだと思えます。寮は九州から来た人が多くて打ち解けやすかったし、新しくご飯も美味しい。毎日が楽しいです。



船員さんたちの宿泊施設だって「ホテルみたいで心地いい」って誉められちゃってます。

ドックに船が入っている間、船員さんたちが心地よく過ごせるようにと1995年に建設した「イルヴェール三和」。海が見える大浴場や美味しい料理が好評で、船主さんに選ばれる理由になっています。



独身寮の駐車場はまるで外車&スポーツカーの展示場みたい? みんな結構いい車に乗ってます。

独身寮で暮らす若い社員は、結構クルマにお金をかけている人が多いらしい...というウサ。その理由は、独身寮の寮費が安いから貯金が出来てしまうとか、給料がいいからとか。来社の際はぜひご確認を!



各所にある屋外トイレはどれも最新型でピカピカ♪気持ちよ〜く使えます。

今の社長が就任してすぐ『脱・3K』を目指し、職場環境の整備に力を入れた三和ドック。構内にあるトイレはどれもおしゃれで新しくピカピカ☆なのです。同業者からは「造船会社らしくない」と評判です。



三和ドック新卒女子'sが証言! 環境が良くて働きやすい職場。女性パワーをもっと活かしたい!

船の仕事は男の世界?いえいえ、女性も活躍中!営業の東さん、中村さん、総務の白石さん、経理の大林さんはいずれも同期入社の新卒社員です。「海が綺麗で環境抜群の三和ドックで一緒に働きましょ!」

ここはちょっと自慢しちゃうよ~

三和ドックはこんな会社です。

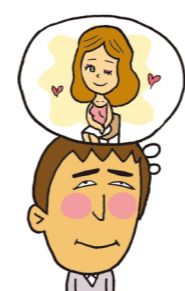


働いている人が楽しいと感じられる会社じゃないと意味はない!これが三和ドックの考え方。社員の幸せを第一に考えた、設備や福利厚生がいっぱいです。ここでその一部をご紹介します!



結婚したら寮から社宅へ。家族の人数に合わせて快適な2種類の社宅を用意しています。

長〜く働いてほしいから、独身時代だけでなく結婚後の住宅についても会社で用意。4LDKで3万5000円、3DKで2万円という破格の家賃で利用できます。夢のマイホーム資金もラクラク貯められますよ!



ここだけの話、コンパを設定してくれる地元の同僚とは仲良くしておいたほうがいいよ(笑)。

寮生活だけでなく県外出身者ばかりでつまみかちだけど、因島出身の同僚とも仲良くしておくことあるかも!?同僚が設定してくれた合コンで因島出身の奥さんを見つけて、今では社宅で幸せに暮らしている社員もいます。



寮生活も快適! 広いリビングに専用バスルーム。仕事の疲れも癒やされます。

構内には4つの独身寮があり、個室内は8畳のリビングに別室のキッチン、バスルーム、独立したトイレ付。リラックスできるようにという社長の心遣いに溢れた贅沢な造りです。ベッド、エアコン、冷蔵庫、電子レンジも完備! 同世代が多く楽しい寮生活が送れます。



海外からの実習生もたくさん! 技術を磨きたいという思いは同じ。国際的な交流も行われています。

ベトナムからの技能実習生を三和ドックは積極的に受け入れています。2007年には専用の実習生寮「シンチャオ三和」も完成。シンチャオとはベトナム語で「こんにちは・こんばんわ」などの意味。国際交流ハウスとしての役割も担っています。



福山まで40分、広島まで90分。5時に仕事が終わったら、クルマでビューーンと夜の街へ!

独身社員たちは一体どんなところで遊んでいるの?と気になる人も多いはず。尾道や福山がやっぱり一番多いけど、広島市街まで出掛けることもよくあります。橋でつながっているのも車なら意外とあっという間ですよ。



社員のための設備も充実! 真新しいシャワールームで仕事の汗はすぐにさっぱり!

2016年7月、新ドックの「7号ドック」と一緒に新社屋も堂々完成!地上5階&地下1階建の新社屋には社員のためのスペースも充実しています。見晴らしのいい展望カフェのほか、シャワールームも完備!



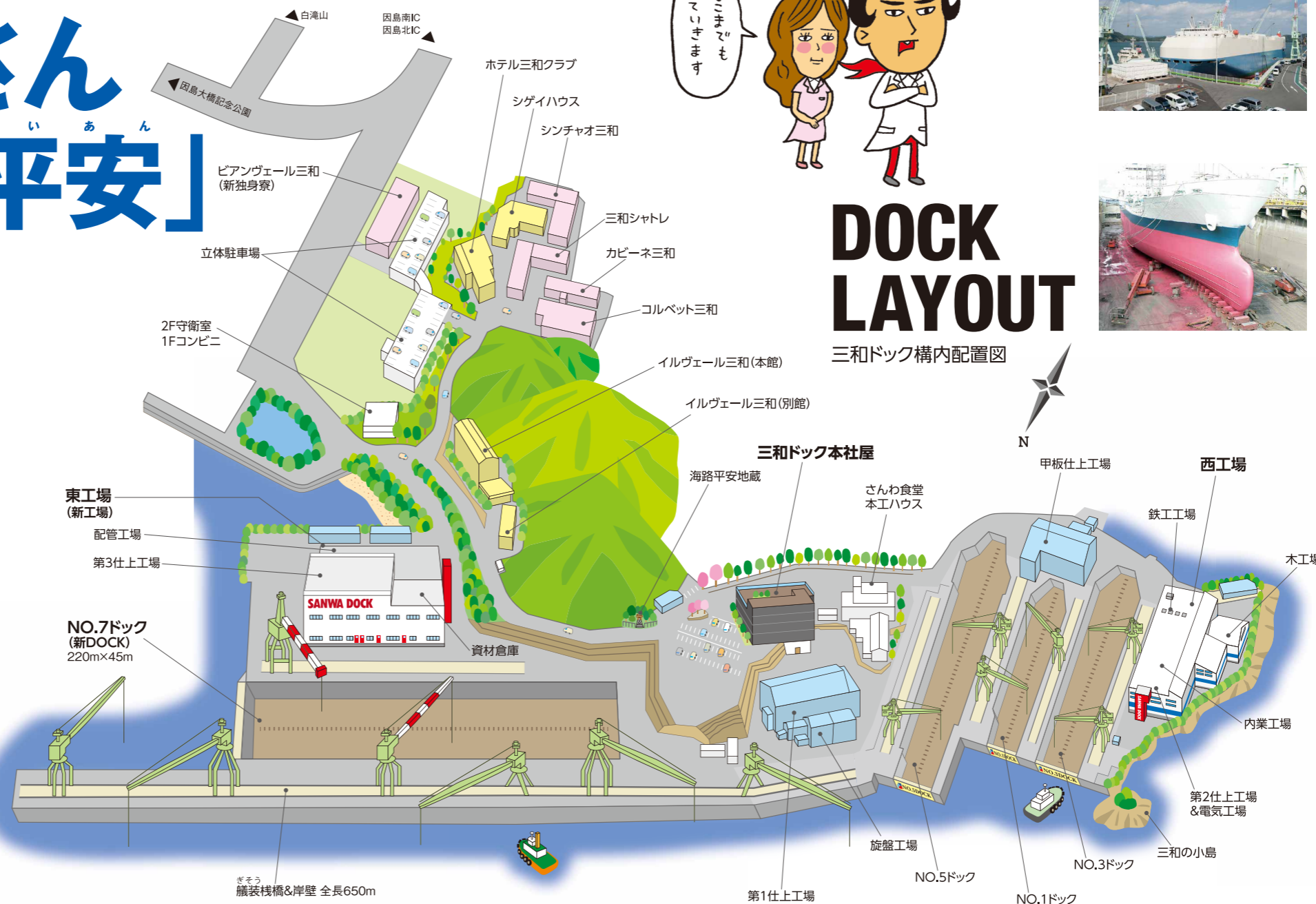
毎年恒例、三和ドックの夏は小早レースで最高に盛り上がる! 力をあわせて、目指すは優勝!

因島の一大イベントといえば、因島水軍まつり。この中で行われる「小早(こはや)レース」に、三和ドックは毎年挑戦しています。当日は家族や社員が見守る中みんなの期待を背負って練習の成果を競います。過去には3回もの優勝経験がある実力派のチームです。

瀬戸内しまなみ海道にある修繕ドック

船のお医者さん として「海路平安」 を支える

社員のため、お客様のため、そして安全な航海のため…。
さまざまな設備はもちろん、教育などソフト面の
充実にも力を注ぎ、私達はこれまでやってきました。



DOCK LAYOUT

三和ドック構内配置図



マニュアル化もAI化もできない オーダーメイドの改造技術。 それが三和ドックの強み!

船が安全に航海できるよう、点検を行い、修理をする。それが「船のお医者さん」である私達の仕事です。船には様々な大きさや種類があり、まったく同じ船はほぼない世界。マニュアル化やAI化は難しく、設備や人の技術によるところが大きい仕事でもあります。長年の経験の中で技術を身に付けた優秀な技術者が、限られた時間の中で状況判断を行い、トラブルを解決に導く。そんな技術者が揃っていることが当社の強みです。

いち早く設備投資に取り組み、 業界をけん引するほどの 技術力を蓄えてきました。

長く、造船業界は構造不況だといわれてきました。世の中の景気の良さしに左右されない企業になろうと、三和ドックでは1990年頃から中期設備計画を立て、積極的な内部改革に取り組んできました。構内のトイレや仕上げ工場を手始めとした設備投資にも着手。同時に社員に対する環境整備にも取り組みました。テーマは「どうすれば楽しく働けるか」。そうして、他から視察に来られるような会社へと少しずつ変化をしてきました。

バラスト水管理条約やSOx規制と 世界の船舶業界が動き出す。 これからのチャンス。

2004年、業界の大きな転換点となるであろう、「バラスト水管理条約」が決まりました。翌年の2005年、業界に先駆け当社は3Dレーザーキャナを導入。これは革命が起こる位の凄い機械でした。リーマンショックも関係ないほどに当社は順調に成長を続けていましたが、次を見据えて3Dレーザーキャナを使った三次元設計の勉強にも取り組んでいました。さらに排ガス規制であるSOx規制もあり、当社にとって追い風が吹いてきました。

増加する改造工事に向け 新たな設備や人材への投資も まだまだ続きます。

先んじて導入・勉強を始めていたお陰で、3Dレーザーキャナを使った船舶改造の三次元設計においては、当社は世界でも勝負できる技術を持つに至りました。先述のバラスト水管理条約はすでに本格始動。さらにSOx規制も施行することが決まっています。徐々に依頼は増えていますが、ここから三和ドックの新たな始まり! 新たな設備投資はもちろん、人材育成が何よりのキーポイントになります。

人を育てて技術力を磨く。 ワクワクするような面白さが 三和ドックにはあります。

業界をめぐる環境は変わってはいますが、オーダーメイドの改造工事において、技術が当社の要であるという点は変わりありません。大事なのは何よりも「人」。手に職を付けたい人、創意工夫でやりがいのある仕事に取り組みたい人には、これからの三和ドックは間違いなく面白い舞台になるはず。最先端の技術に触れ、自分自身の成長も目指せる。社員一人ひとりの成長とともに、三和ドックもさらに大きくなっていきます。

これまでと同じように、 社員の皆さんが安心して働ける 環境づくりも続けていきます。

かつて「3K」などと言われていたこの業界。三和ドックでは今の社長になった30年程前から、そういった状況を脱却しようと職場環境や寮などの整備に取り組み続け、多くの改革を進めてきました。社員が楽しく働ける職場であることは、技術を磨く上でも非常に大切なことと三和ドックではとらえているからです。この改革に終わりはありません。創業以来赤字なしの財務体制のもと、安心して働ける環境づくりはまだ続きます。